

目 次

- 1 . 心外膜への作用を介して冠状血管の発生に影響を及ぼすシグナル分子の探索
石井泰雄¹、小山紗璃²、浦瀬香子¹
(¹統合教育学修センター・基礎科学 (生物学)、²医学部第3学年) ……………2
- 2 . ドロップキャスト法により作成した光受容膜タンパク質薄膜の非接触膜厚測定
辻野賢治¹、田邊賢司²
(¹統合教育学修センター・基礎科学 (物理学)、²総合医科学研究所) ……………4
- 3 . アルキル化剤の違いによる傷害後の網膜における *Fgf2* の遺伝子発現の比較
蔣池かおり、藤枝弘樹 (解剖学 (神経分子形態学分野)) ……………6
- 4 . 複製ストレスは *Fancd2* 欠損造血幹細胞のミトコンドリア代謝およびマイトファジーを上昇する
望月牧子¹、大月典子²、藤木恒太³、Sherif Abdelhamd⁴、Peter Kurre⁵、
Markus Grompe⁶、岩間厚志⁷、斉藤加代子²、石津綾子¹
(¹解剖学 (顕微解剖学・形態形成学分野)、²ゲノム診療科、
³衛生学公衆衛生学、⁴セントジュード小児病院、⁵フィラデルフィア大学小児病院、
⁶オレゴン健康科学大学、⁷東京大学医科学研究所) ……………8
- 5 . 悪性脳腫瘍における代謝とエピジェネティクス制御機構の解明
増井憲太、鬼塚裕美、倉田厚 (病理学 (人体病理学・病態神経科学分野)) ……………10
- 6 . *Fusobacterium nucleatum* 亜種間の相互作用がバイオフィーム形成に与える影響
大坂利文¹、中川隼輔²、常田聡²、柳澤直子¹
(¹微生物学免疫学、²早稲田大学大学院・先進理工学研究科) ……………12
- 7 . 神経ガイダンス因子セマフォリン 3A によるホスファチジルセリン表在化に關与する
受容体とシグナル経路の特定
新敷信人¹、土井蒔子^{1,2}、中村史雄¹ (¹生化学、²医学部第3学年) ……………14
- 8 . スフェロイドの一細胞ライブイメージングと直接圧迫による機械的特性の計測
田中正太郎、中村史雄 (生化学) ……………16

9.	腎性貧血患者の赤血球におけるフリッパーゼ活性の測定 関桃子 ^{1,2} 、新敷信人 ¹ 、星野純一 ² 、土谷健 ³ 、中村史雄 ¹ (¹ 生化学、 ² 腎臓内科学、 ³ 血液浄化療法科) ……………	18
10.	子宮内電気穿孔法を用いた <i>in vivo</i> 樹状突起伸長機構の解析 瀧澤光太郎、中村史雄 (生化学) ……………	20
11.	がんの全身性転移におけるレクチン様酸化 LDL 受容体-1 の役割 瀧田守親、出口敦子、丸義朗 (薬理学) ……………	21
12.	神経障害性疼痛の基盤となる中枢神経可塑性機構 植田禎史、宮田麻理子 (生理学 (神経生理学分野)) ……………	22
13.	線虫における全身性 RNA 干渉の解析 出嶋克史、吉田慶太、末廣勇司、吉名佐和子、三谷昌平 (生理学 (分子細胞生理学分野)) ……………	24
14.	ヒト肺胞上皮腺がん細胞 A549 を用いた銀ナノ粒子とサルブリナル同時処理による 小胞体ストレス応答の増大とオートファジーの破綻 宮山貴光、松岡雅人 (衛生学公衆衛生学 (環境・産業医学分野)) ……………	26
15.	カドミウムのヒト近位尿細管細胞における毒性発現機構 藤木恒太 ¹ 、田邊賢司 ² 、菅谷健 ³ 、松岡雅人 ¹ (¹ 衛生学公衆衛生学 (環境・産業医学分野)、 ² 総合医科学研究所、 ³ 聖マリアンナ医科大学医学部腎臓・高血圧内科) ……………	28
16.	新機抗マalaria薬として期待される化合物 X の作用機序に関する研究 本間一 (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野グローバルヘルス部門)) ……………	30
17.	浴槽内の水に存在するヒト DNA を用いた入浴時間の推定 町田光世、木林和彦 (法医学) ……………	32
18.	LC-QTOF/MS による大麻由来のカンナビジオールオイルの高感度分析と毒性評価 中尾賢一朗、木林和彦 (法医学) ……………	33

19.	マウス外傷性脳損傷後の脳の遺伝子発現解析 島田亮、木林和彦（法医学）	34
20.	抗血栓薬が外傷性脳損傷の重症度に与える影響 多々良有紀、木林和彦（法医学）	35
21.	STING 活性化による気道炎症では RANTES が発現する 辻真世子、近藤光子、亀山伸吉、赤羽朋博、有村健、 八木理充、桂秀樹、多賀谷悦子（呼吸器内科学）	36
22.	コルチゾール自律性過剰分泌患者の心血管危険因子解析 渡辺大輔、森本聡、森嶋紀子、市原淳弘（高血圧学）	38
23.	巣状分節性糸球体硬化症/ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の腎移植患者の 遺伝子解析における詳細な臨床病理学的分類の有用性 三浦健一郎 ¹ 、金子直人 ¹ 、橋本多恵子 ¹ 、石塚喜世伸 ¹ 、白井陽子 ¹ 、 近本裕子 ¹ 、秋岡祐子 ¹ 、神田祥一郎 ¹ 、山本俊至 ² 、服部元史 ¹ (¹ 腎臓小児科、 ² ゲノム診療科)	40
24.	常染色体顕性(優性)多発性嚢胞腎における Splicing mutation と脳動脈瘤発症の 関連性について 潮雄介、片岡浩史、眞部俊、星野純一（腎臓内科学）	42
25.	マウス中大脳動脈永久閉塞モデルにおける遠隔虚血コンディショニングと低体温療法の 有効性の比較 齋藤萌子、星野岳郎、石塚健太郎、北川一夫（脳神経内科学）	43
26.	神経生検の有用性 鈴木美紀（脳神経内科学）	44
27.	抗 MOG 抗体関連疾患 3 症例における脳病理学的検討 池口亮太郎 ¹ 、神田菜月 ¹ 、小原三千代 ¹ 、増井憲太 ² 、 柴田亮行 ² 、清水優子 ¹ 、北川一夫 ¹ (¹ 脳神経内科学、 ² 病理学（人体病理学・病態神経科学分野）)	46

28. 多発性硬化症合併妊娠におけるフマル酸ジメチルとナタリズマブの自験例におけるリンパ球サブセットの検討
清水優子^{1,2}、斉藤聡志¹、池口亮太郎¹、北川一夫¹
(¹脳神経内科学、²医療安全科) ……………48
29. 肝線維化診断における血清全長結合組織成長因子の意義
小木曾智美、徳重克年 (消化器内科学) ……………50
30. Duchenne 型筋ジストロフィーモデル動物に対する筋芽細胞および脂肪由来間葉系幹細胞移植は生着に至らず、しばしば胎仔死亡に至る
木原祐希^{1,2}、田中倭恵³、池田優成³、本間順²、高木亮²、石垣景子¹、山内啓太郎³、本田浩章⁴、永田智¹、大和雅之²
(¹小児科学、²先端生命医科学研究所、³東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻比較動物医科学講座、⁴先端生命医学専攻疾患モデル研究分野・実験動物研究所) ……………52
31. 動物実験モデルにおける *Acinetobacter radioresistens* の新規病原性についての検討
鈴木悠貴¹、大坂利文²、上芝秀博²、柳澤直子²、永田智¹
(¹小児科学、²微生物学免疫学) ……………54
32. DPP4 阻害薬によるラット IFALD モデルに対する肝線維化抑制効果
末吉亮¹、山田進¹、川上万留実²、石井惇也¹、田邊賢司²、世川修¹
(¹小児外科学、²総合医科学研究所) ……………56
33. 血管炎における皮膚と血清の微生物叢の変化
宮部千恵、宮田龍臣、大貫真依、石黒直子 (皮膚科学) ……………58
34. エロツズマブは SLAMF7 陽性および陰性骨髄腫細胞において CD16 非依存性 NK 細胞媒介性細胞傷害性を増強する
王艶華、萩原将太郎、石井真由子、宮崎真理、篠原明仁、吉永健太郎、志関雅幸
(血液内科学) ……………60
35. ダサチニブは CML 細胞においてペルオキシレドキシシン 1 および 2 の発現を調節する
風間啓至^{1,2}、王艶華²、田中淳司²
(¹足立医療センター・内科、²血液内科学) ……………62

36. 全身性エリテマトーデス自然発症モデル BXSB-*Yaa* マウスの腎炎性の腎臓における、
PD-1 とそのリガンドの発現亢進と末梢ヘルパーT 細胞の増殖
森山倫奈、勝又康弘、岡本祐子、菊池華恵、針谷正祥
(膠原病リウマチ内科学)64
37. 全身性強皮症患者における血清 CA19-9 値と間質性肺疾患に関する横断的研究
廣瀬光¹、樋口智昭^{1,2}、市村裕輝¹、高木香恵³、栃本明子¹、勝又康弘¹、
針谷正祥¹、川口鎮司¹
(¹膠原病リウマチ内科学、²リウマチ性疾患先進的集学医療寄附研究部門、
³足立医療センター・内科)66
38. 転移性腎細胞癌に対するイピリムマブ+ニボルマブ治療後免疫関連副作用の予後への
影響に関する研究
池田敬至^{1,2}、石原弘喜¹、根本侑樹²、橘秀和³、福田洋典¹、吉田一彦¹、
高木敏男¹、飯塚淳平¹、橋本恭伸²、石田英樹¹、近藤恒徳³、田邊一成¹
(¹泌尿器科学、²済生会川口総合病院泌尿器科、³足立医療センター・泌尿器科)68
39. ACO 合併慢性鼻副鼻腔炎の病態形成機序の解明
向井昌功、松居可奈子、野中学 (耳鼻咽喉科学)70
40. 癌性腹水中の腫瘍浸潤 $\gamma\delta$ 型 T 細胞培養能回復の検討
阿部結貴¹、小林博人²、田畑務¹
(¹産婦人科学、²足立医療センター・輸血・細胞治療部)72
41. ネスチンは網膜損傷後のミュラーグリア増殖とミクログリア浸潤を制御する
本吉絢¹、齋藤文典²、藤枝弘樹²、飯田知弘¹
(¹眼科学、²解剖学 (神経分子形態学分野))74
42. 網膜傷害後の Müller グリアの増殖と神経分化およびグリオシスの関連性
西野玲子^{1,2}、蔣池かおり¹、藤枝弘樹¹
(¹解剖学 (神経分子形態学分野)、²眼科学)76
43. 情動記憶処理に対する抗精神病薬の急性効果と慢性効果
押淵英弘、不破達、榎本幸輔、柴田和郎、西村勝治 (精神医学)78

44.	Trifluridine の効果予測因子と耐性メカニズムの検討 中島豪、小高桂子、倉持英和（化学療法・緩和ケア科）	80
45.	脊髄性筋萎縮症における治療有効性モニタリングのためのバイオマーカーの開発 大月典子、加藤環、横村守、松尾真理、齋藤加代子（ゲノム診療科）	82
46.	<i>stx2f</i> 保有腸管出血性大腸菌（EHEC）の分子疫学解析 菊池賢 ¹ 、阿部蘭 ¹ 、坂間玲子 ¹ 、鎌田啓祐 ¹ 、鶴澤豊 ¹ 、荒井祐子 ¹ 、 宇野浩一 ² 、野口秋雄 ² 、金子寛 ² 、佐藤寿夫 ² （ ¹ 感染症科、 ² 日本微生物研究所）	84
47.	ヒト歯髄幹細胞を用いた無血清培地の開発 松井友里 ^{1,2} 、吉用賢治 ³ 、古賀陽子 ² （ ¹ 東京医科大学口腔外科学分野、 ² 歯科口腔外科学（口腔顎顔面分野）、 ³ ナカライテスク株式会社）	86
48.	ヒト歯髄幹細胞における遠心速度の違いによる多血小板フィブリンの有用性検討 中野愛二香 ¹ 、松井友里 ^{1,2} 、壇辻百合香 ¹ 、菅野勇樹 ¹ 、古賀陽子 ¹ （ ¹ 歯科口腔外科学、 ² 東京医科大学）	88
49.	ヒストン修飾因子に注目した骨髄異形成症候群と自己免疫疾患の共通分子基盤の解明 岩崎正幸、世良康如、本田浩章（実験動物研究所）	90
50.	CBL 変異を有する慢性骨髄単球性白血病における UTX 機能欠失による急性転化機構の 解析に関する研究 黒川美有、世良康如、岩崎正幸、本田浩章（実験動物研究所）	92
51.	マウスモデルを用いたエピジェネティクス変異による前立腺癌発症機構の解明 村元啓仁 ^{1,2} 、岩崎正幸 ¹ 、世良康如 ¹ 、本田浩章 ¹ （ ¹ 実験動物研究所、 ² 順天堂大学泌尿器科）	94
52.	B 細胞におけるヒストン脱メチル化酵素 UTX の機能解析と自己免疫疾患病態への関与 世良康如 ¹ 、岩崎正幸 ¹ 、川上万留実 ² 、竹田美香 ¹ 、小泉美穂 ¹ 、本田浩章 ¹ （ ¹ 実験動物研究所、 ² 総合医科学研究所）	96

53.	ExpiSf Expression System を用いた GST 融合 LYPD1 タンパク質の産生 増田信奈子（先端生命医科学研究所）	98
54.	悪性リンパ腫の増殖機構の解明と標的分子の探索 小笠原壽恵 ¹ 、川内喜代隆 ² 、マーシャル祥子 ¹ 、風間啓至 ¹ 、小川哲也 ¹ (¹ 足立医療センター・内科、 ² 西尾久クリニック)	100
55.	体位性頻脈症候群 (POTS) におけるアドレナリン受容体抗体と臨床像 佐藤恭子 ^{1,2} (¹ 足立医療センター・リハビリテーション科、 ² 足立医療センター・内科)	102
56.	維持透析患者におけるプロバイオテックの血清リン低下作用における緩下剤の 影響：多施設共同無作為化二重盲検群間比較試験のサブ解析 小川哲也 ¹ 、平澤慧里子 ¹ 、永野伸郎 ^{1,2} (¹ 足立医療センター・内科、 ² 日高病院腎臓病治療センター)	104
57.	EGFR 遺伝子変異による序列性表皮母斑 梅垣知子（足立医療センター・皮膚科）	106
58.	クリオプレシピテートと比較した限外濾過による新鮮凍結血漿の濃縮効果 市川順子、小森万希子（足立医療センター・麻酔科）	108
59.	当院における大腸内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の長期治療成績と多発病変の特徴 下嶋理恵子、加藤博之（足立医療センター・検査科）	110
60.	食道癌におけるテロメララーゼ活性の発現と臨床病理学的因子との関連について 島川武（足立医療センター・外科）	112
61.	中皮腫における EZH2 の発現の検討 廣島健三 ¹ 、尾崎大介 ² 、中澤匡男 ¹ (¹ 八千代医療センター・病理診断科、 ² 千葉労災病院・病理診断科)	114
62.	糖鎖分子マーカーを用いた臍腫瘍の高感度診断システムの開発 樋口亮太（八千代医療センター・消化器外科）	116

63.	先天性心疾患患者を含む5家系の網羅的遺伝子解析 井上忠 ¹ 、國松将也 ^{1,2} 、石崎怜奈 ¹ 、古谷喜幸 ³ 、赤川浩之 ⁴ 、 古道一樹 ¹ 、内田敬子 ⁵ 、山岸敬幸 ^{1,6} (¹ 慶應義塾大学医学部小児科、 ² 千葉大学大学院医学研究院小児病態学、 ³ 循環器小児・成人先天性心疾患科、 ⁴ 総合医科学研究所、 ⁵ 慶應義塾大学保健管理センター、 ⁶ 慶應義塾大学医学部予防医療センター) …… 118
64.	構造的かつ網羅的解析による単一遺伝子異常による原因遺伝子の解析 岩崎直子 ^{1,2,3,4} 、田中慧 ^{3,4} 、東劍虹 ⁴ 、樋口清香 ⁴ 、赤川浩之 ⁴ (¹ 八千代医療センター・糖尿病・内分泌代謝内科、 ² ゲノム診療科、 ³ 糖尿病・代謝内科学、 ⁴ 総合医科学研究所) …… 120
65.	日本人の遺伝性出血性毛細血管拡張症患者における遺伝子変異の機能的特徴 森田修平 ¹ 、赤川浩之 ² (¹ 脳神経外科学、 ² 総合医科学研究所) …… 122
66.	フラグメント化シーケンスを用いたジストニア遺伝子全長解析 東劍虹 ¹ 、堀澤士朗 ² (¹ 総合医科学研究所、 ² 脳神経外科学) …… 124
67.	ヨガ療法が健常者に及ぼす心理変化と遺伝子発現変化の解析 樋口清香 ¹ 、毛塚由希子 ² 、三谷昌平 ^{1,3} (¹ 総合医科学研究所、 ² 東洋大学大学院総合情報学研究科、 ³ 生理学(分子細胞生理学分野)) …… 126
68.	全エクソーム解析によるモヤモヤ症候群の遺伝子診断および修飾因子の同定 中村彰一 ^{1,2} 、野村俊介 ³ 、赤川浩之 ² (¹ 脳神経外科学、 ² 総合医科学研究所、 ³ 八千代医療センター・脳神経外科) …… 128
69.	空間オミックス解析に向けた繰り返し蛍光免疫染色法の検証 久賀彩楓 ¹ 、田邊賢司 ² (¹ 医学部第3学年、 ² 総合医科学研究所) …… 130
	APPENDIX (カラー図掲載) …… 133

Bulletin (43) of Institute for Comprehensive Medical Sciences
Tokyo Women's Medical University
2022
Contents of Abstracts

1. Signaling molecules that influence coronary vascular development through their actions on the epicardium
Yasuo Ishii, Sari Koyama and Koko Urase2
2. Contactless measurement of the thickness of a photoreceptor protein thin film fabricated by the drop-casting method
Kenji Tsujino and Kenji Tanabe4
3. Comparison of *Fgf2* gene expression between different alkylating agents in the retina after injury
Kaori Komoike and Hiroki Fujieda6
4. Replication stress increases mitochondrial metabolism and mitophagy in FANCD2 deficient fetal liver hematopoietic stem cells
Makiko Mochizuki-Kashio, Noriko Otsuki, Kota Fujiki,
Sherif Abdelhamd, Peter Kurre, Markus Grompe, Atsushi Iwama,
Kayoko Saito and Ayako Nakamura-Ishizu8
5. Loss of H3 p.K27me3 reprograms glutathione metabolism in diffuse midline glioma
Kenta Masui, Hiromi Onizuka and Atsushi Kurata10
6. Effect of the intersubspecies interaction of *Fusobacterium nucleatum* on biofilm formation
Toshifumi Osaka, Shunsuke Nakagawa,
Satoshi Tsuneda and Naoko Yanagisawa12
7. Identification of the receptors and signal pathways involving in externalization of phosphatidylserine by semaphorin3A, a neuron guidance factor
Nobuto Arashiki, Makiko Doi and Fumio Nakamura14

8.	A correlation between gene expression pattern and tissue response against physical pressing modeled by cell aggregate spheroid Shotaro Tanaka and Fumio Nakamura	16
9.	Analysis of flippase activity in erythrocytes from patients with renal anemia Momoko Seki, Nobuto Arashiki, Junichi Hoshino, Ken Tsuchiya and Fumio Nakamura	18
10.	Investigation of <i>in vivo</i> dendritic arborization mechanism utilizing <i>in utero</i> electroporation Kohtaro Takizawa and Fumio Nakamura	20
11.	Role of lectin-like oxidized LDL receptor-1 in systemic metastases of cancer Morichika Takita, Atsuko Deguchi and Yoshiro Maru	21
12.	Neural plasticity mechanisms underlying neuropathic pain triggered by peripheral nerve injury Yoshifumi Ueta and Mariko Miyata	22
13.	Analyses on the systemic RNAi in <i>C. elegans</i> Katsufumi Dejima, Keita Yoshida, Yuji Suehiro, Sawako Yoshina and Shohei Mitani	24
14.	Increased endoplasmic reticulum stress response and disruption of autophagy by simultaneous treatment with silver nanoparticles and salubrinal using human alveolar epithelial adenocarcinoma cell A549 Takamitsu Miyayama and Masato Matsuoka	26
15.	Mechanisms of cadmium-induced toxicity in human proximal tubular cells Kota Fujiki, Kenji Tanabe, Takeshi Sugaya and Masato Matsuoka	28
16.	Study on the mechanism of action of compound X against <i>Plasmodium falciparum</i> Hajime Honma	30
17.	Estimation of bathing time using human DNA in water in bathtub Mitsuyo Machida and Kazuhiko Kibayashi	32

18.	Sensitive analysis and toxicological evaluation of cannabidiol oil from cannabis by LC-QTOF/MS	Ken-ichiro Nakao and Kazuhiko Kibayashi	33
19.	Gene expression analysis of the brain after traumatic brain injury in mice	Ryo Shimada and Kazuhiko Kibayashi	34
20.	The effect of antithrombotic drugs on the severity of traumatic brain injury	Yuki Tatara and Kazuhiko Kibayashi	35
21.	RANTES is expressed by STING activation in airway inflammation	Mayoko Tsuji, Mitsuko Kondo, Shinkichi Kameyama, Tomohiro Akaba, Ken Arimura, Osamitsu Yagi, Hideki Katsura and Etsuko Tagaya	36
22.	Cardiovascular risk assessments in patients with cortisol-producing adenoma: impact of clinical features and genetic characteristics	Daisuke Watanabe, Satoshi Morimoto, Noriko Morishima and Atsuhiko Ichihara	38
23.	Precise clinicopathologic findings for application of genetic testing in pediatric kidney transplant recipients with focal segmental glomerulosclerosis/steroid-resistant nephrotic syndrome	Kenichiro Miura, Naoto Kaneko, Taeko Hashimoto, Kiyonobu Ishizuka, Yoko Shirai, Hiroko Chikamoto, Yuko Akioka, Shoichiro Kanda, Toshiyuki Yamamoto and Motoshi Hattori	40
24.	Association of splicing mutation and development of cerebral aneurysms in autosomal dominant polycystic kidney disease	Yusuke Ushio, Hiroshi Kataoka, Shun Manabe and Junichi Hoshino	42
25.	Comparison of the efficacy of remote ischemic conditioning and hypothermia in murine permanent focal cerebral ischemia	Moeko Saito, Takao Hoshino, Kentaro Ishizuka and Kazuo Kitagawa	43
26.	Usefulness of nerve biopsy	Miki Suzuki	44

27.	Brain histopathological study in 3 patients with anti-MOG antibody associated disease Ryotaro Ikeguchi, Natsuki Kanda, Michiyo Ohara, Kenta Masui, Noriyuki Shibata, Yuko Shimizu and Kazuo Kitagawa	46
28.	Study of lymphocyte subsets in a case series of dimethyl fumarate and natalizumab in pregnant women with multiple sclerosis Yuko Shimizu, Satoshi Saito, Ryotaro Ikeguchi and Kazuo Kitagawa	48
29.	Serum level of full-length connective tissue growth factor reflects liver fibrosis stage in patients with Fontan-associated liver disease Tomomi Kogiso and Katsutoshi Tokushige	50
30.	In utero transplantation of myoblasts and adipose-derived mesenchymal stem cells to murine models of Duchenne muscular dystrophy does not lead to engraftment and frequently results in fetal death Yuki Kihara, Yukie Tanaka, Masanari Ikeda, Jun Homma, Ryo Takagi, Keiko Ishigaki, Keitaro Yamanouchi, Hiroaki Honda, Satoru Nagata and Masayuki Yamato	52
31.	Novel pathogenicity of secretory proteins from <u>Acinetobacter radioresistens</u> in experimental models Yuki Suzuki, Toshifumi Osaka, Hidehiro Ueshiba, Naoko Yanagisawa and Satoru Nagata	54
32.	The decrease effect for liver fibrosis of rat IFALD models by utilizing DPP4 inhibitor Ryo Sueyoshi, Susumu Yamada, Marumi Kawakami, Junya Ishii, Kenji Tanabe and Osamu Segawa	56
33.	Alteration of microbial composition in the skin and blood in vasculitis Chie Miyabe, Ryujin Miyata, Mai Onuki and Naoko Ishiguro	58
34.	Elotuzumab enhances CD16-independent NK cell-mediated cytotoxicity in both SLAMF7-positive and -negative myeloma cells Yan-Hua Wang, Shotaro Hagiwara, Mayuko Ishii, Mari Miyazaki, Akihito Shinohara, Kentaro Yoshinaga and Masayuki Shiseki	60

35. Dasatinib modulates the expression of peroxiredoxin 1 and 2 in chronic myeloid leukaemia cells
Hiroshi Kazama, Yan-Hua Wang and Junji Tanaka62
36. Upregulation of PD-1 and its ligands and expansion of T peripheral helper cells in the nephritic kidneys of lupus-prone BXSB- *Yaa* mice
Rina Moriyama, Yasuhiro Katsumata, Yuko Okamoto,
Hanae Kikuchi and Masayoshi Harigai64
37. Association of Elevated Serum Carbohydrate Antigen 19-9 Levels with Extensive Interstitial Lung Disease in Patients with Systemic Sclerosis: A Cross-sectional study
Hikaru Hirose, Tomoaki Higuchi, Yuki Ichimura,
Kae Takagi, Akiko Tochimoto, Yasuhiro Katsumata,
Masayoshi Harigai and Yasushi Kawaguchi66
38. Prognostic impact of immune-related adverse events in metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab plus ipilimumab
Takashi Ikeda, Hiroki Ishihara, Yuki Nemoto, Hidekazu Tachibana,
Hironori Fukuda, Kazuhiko Yoshida, Toshio Takagi, Junpei Iizuka,
Yasunobu Hashimoto, Hideki Ishida, Tsunenori Kondo and Kazunari Tanabe68
39. Immunohistochemical investigation of the mechanism underlying rhinosinusitis with ACO
Masayoshi Mukai, Kanako Matsui and Manabu Nonaka70
40. Examination of the recovery ability of ascites-infiltrating gamma delta T cell culture in malignant ascites
Yuki Abe, Hirohito Kobayashi and Tsutomu Tabata72
41. Nestin regulates Müller glia proliferation and microglia infiltration after retinal injury
Aya Motoyoshi, Fuminori Saitoh, Tomohiro Iida and Hiroki Fujieda74
42. Association of Müller glial proliferation with neural differentiation and gliosis after retinal injury
Reiko Nishino, Kaori Nomura-Komoike and Hiroki Fujieda76

43.	Effect of acute and chronic antipsychotics on emotional memory processing Hidehiro Oshibuchi, Tatsu Fuwa, Kosuke Enomoto, Kazuro Shibata and Katsuji Nishimura	78
44.	A study of trifluridine predictive response markers and tolerance mechanisms Go Nakajima, Keiko Kodaka and Hidekazu Kuramochi	80
45.	Development of biomarkers for therapeutic efficacy monitoring in spinal muscular atrophy Noriko Otsuki, Tamaki Kato, Mamoru Yokomura, Mari Matsuo and Kayoko Saito	82
46.	Molecular epidemiology of <i>stx2f</i> enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> (EHEC) strains isolated from healthy carriers Ken Kikuchi, Ran Abe, Reiko Sakama, Keisuke Kamada, Yutaka Uzawa, Yuko Arai, Koichi Uno, Akio Noguchi, Hiroshi Kaneko and Toshio Sato	84
47.	Development of xeno-free culture medium using human dental pulp stem cells Yuri Matsui, Kenji Yoshimochi and Yoko Kawase-Koga	86
48.	Investigation of the usefulness of platelet-rich-fibrin in human dental pulp stem cells at different centrifugal speeds Monika Nakano, Yuri Matsui, Yurika Ikeda-Dantsuji, Yuuki Kanno and Yoko Kawase-Koga	88
49.	Understanding of the common molecular basis between myelodysplastic syndromes and autoimmune diseases underlying histone modifiers Masayuki Iwasaki, Yasuyuki Sera and Hiroaki Honda	90
50.	A Study on the Analysis of the Mechanism of Acute Transformation Due to UTX Dysfunction in Chronic Myelomonocytic Leukemia with CBL Mutations Miyu Kurokawa, Yasuyuki Sera, Masayuki Iwasaki and Hiroaki Honda	92

51.	Elucidation of the mechanism of prostate cancer development by epigenetic mutations using a mouse model Nobuhito Muramoto, Masayuki Iwasaki, Yasuyuki Sera and Hiroaki Honda	94
52.	Functional analysis of histone demethylase UTX in B cells and its involvement in autoimmune disease pathogenesis Yasuyuki Sera, Masayuki Iwasaki, Marumi Kawakami, Miho Koizumi and Hiroaki Honda	96
53.	Production of GST-tagged LYPD1 using ExpiSf Expression System Shinako Masuda	98
54.	Biochemical and molecular analysis of hematopoietic malignancy and identification of the therapeutic targets Toshie Ogasawara, Kiyotaka Kawauchi, Shoko Marshall, Hiroshi Kazama and Tetsuya Ogawa	100
55.	Adrenergic receptor antibodies in postural orthostatic tachycardia syndrome (POTS) Kyoko Sato	102
56.	The effect of laxatives on reducing serum phosphate levels on probiotic in hemodialysis patients: A subanalysis of RCT Tetsuya Ogawa, Eriko Hirasawa and Nobuo Nagano	104
57.	A non-epidermolytic keratinocytic epidermal nevus associated with a post-zygotic mutation in the gene encoding the epidermal growth factor receptor Noriko Umegaki-Arao	106
58.	Hemostatic capability of ultrafiltrated fresh frozen plasma compared to cryoprecipitate Junko Ichikawa and Makiko Komori	108
59.	Long-term outcomes and characteristic of multiple lesions after Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection Rieko Shimojima and Hiroyuki Kato	110

60.	Expression of the telomerase activity in the cancer of the esophagus Takeshi Shimakawa	112
61.	Expression of EZH2 in mesotheliomas Kenzo Hiroshima, Daisuke Ozaki and Tadao Nakazawa	114
62.	Development of a highly sensitive diagnostic system for pancreatic tumors using glycan molecular markers Ryota Higuchi	116
63.	Comprehensive genetic analysis of five families including patients with congenital heart defects Tadashi Inoue, Masaya Kunimatsu, Reina Ishizaki, Yoshiyuki Furutani, Hiroyuki Akagawa, Kazuki Kodo, Keiko Uchida and Hiroyuki Yamagishi	118
64.	Analysis of monogenic diabetes genes through structural and comprehensive strategy Naoko Iwasaki, Satoshi Tanaka, Kenkou Azuma, Sayaka Higuchi and Hiroyuki Akagawa	120
65.	Functional characterization of variants found in Japanese patients with hereditary hemorrhagic telangiectasia Shuheii Morita and Hiroyuki Akagawa	122
66.	Genetic analysis of full length dystonia gene with fragment-sequencing Kengkou Azuma and Shiro Horisawa	124
67.	Effects of yoga therapy on psychological and gene expression states of healthy subjects Sayaka Higuchi, Yukiko Kezuka and Shohei Mitani	126
68.	Whole-exome sequencing reveals the genetic causes and modifiers of moyamoya syndrome Akikazu Nakamura, Shunsuke Nomura and Hiroyuki Akagawa	128
69.	Introducing iterative indirect immunofluorescence imaging for spatial omics analysis Sayaka Kuga and Kenji Tanabe	130

